

## 平成 26 年度第 2 回中央区地域公共交通検討会議 要旨

日時	平成 27 年 3 月 27 日（金） 午前 10 時 00 分～午後 0 時 15 分	会場	市役所 6 階 講堂
	○中央区地域課から、中央区生活交通改善プラン（案）について資料に基づき説明。		
質疑・ 意見等	<p>中央区生活交通安全プラン（案）について</p> <p>○中央区自治協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区生活交通改善プラン（案）にて、利便性の向上を図る旨記載があるが、新潟交通はどのような取組みを今までされてきたかお聞きしたい。机上の考え方ではなく、1 軒 1 軒現状の問題点や要望などを出向いて声を聞くような取組みは。</li> <li>⇒利便性の向上という点では、冬タイヤの設定やバスの増発を行い、定時性については、車載器を用いてバス停間の時間調整を行っている。こちらから出向いて声を聞くということはしていないが、公の皆さまに対してということでは、ホームページにて乗り方等をお示ししている。【新潟交通】</li> </ul> <p>○中央区自治協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区生活交通改善プラン（案）8 頁記載の「運行情報の充実」とあるが、どのような取組みを考えているのか。</li> <li>・計画期間における取組みにぶら下がる実施計画についての説明をお願いしたい。</li> <li>⇒1 点目の運行情報の充実については、区バスでも位置情報の提供サービスがインターネットにて始まっており、その他の路線への広がりやインターネットとは別の方法など具体的取組みについては交通事業者と協議し、研究しながら進めていきたいと考えている。</li> <li>2 点目の実施計画については、現時点では謳っていないが、中央区区ビジョンまちづくり計画の中でも公共交通に関する部分があり、その辺とリンクさせながらその時代、時代に合わせてしっかり進捗管理をおこなっていきたいと考えている。【市】</li> <li>・実施計画について、民間企業に比べ少し取組みが遅いのでは。意識改革をしっかりと取り組んでもらいたい。定時性の問題についてもモバイル端末を活用し、中央で監視する技術などはできている。行政や交通事業者がどれだけやる気を出すかだと思う。</li> </ul> <p>○新潟ハイヤータクシー協会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央区生活交通改善プラン（案）5 頁に「タクシー乗り場が有効に活用されていません」と記載があるが、協会では今のタクシー乗り場でいいと思っているわけではない。タクシーを含めた全体構想のあり方として単なる情報提供では済まない。今後の交通の状況を見ながら適切な乗り場配置を図っていく必要、整備の必要など一項入れていただきたい。</li> <li>⇒タクシーに限らず、そのほかの乗り場と一緒に整備していく必要があると考えている。改善プラン（案）については、5 頁に課題を整理、8 頁に取組みとして記載させていただいた。整備にあたっては交通事業者さんともいろいろな形で検討していく必要があると考えている。【市】</li> <li>・タクシー乗り場の整備や配置に関してこの改善プラン（案）に書いてある、書いていないで今後の取組みに影響する。将来的余地のためにも記載をしてもらいたい。</li> </ul> <p>○中央区自治協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討について、前向き、現状、後ろ向きとあるらしい。この会議で請願書なりお願いをした場合、どこまで向き合ってもらえるのか。できないのであれば、いつ頃までにできるようにするのか。はっきりしていただかないとうやむやのうちに終わってしまう。</li> <li>⇒この会議で頂いたご意見については、真摯に受け止めできる限り尊重するとともに、前</li> </ul>		

向きに検討を考えている。【市】

○中央区自治協議会委員

- ・市民の利便性を高めるということで、現状はどうかを業界の方と情報共有する必要があるのでは。
- ⇒タクシー乗り場については、乗客数調査の結果を踏まえながら交通会社さんとも相談し、今後について前向きに検討し、できるところから整備をしていくと考えている。【市】

○中央区自治協議会委員

- ・具体的な取組みがあるのなら出してもらいたい。そうでなければ議論が難しい。
- ⇒具体的なものが出ないと判断が難しいというのは確かだと思う。具体的な内容、実施計画については、今の時点ではお示しできないが、市の総合計画、区ビジョンまちづくり計画の中で、実施計画としてまとめていく。【市】

○新潟島に循環バスを走らせる会

- ・中央区生活交通改善プラン（案）の5頁にて「高齢者の割合が高い地域や、新潟駅に直接乗り入れできない地域」とあるが、具体的にどここの地域を考えているのか。また、デマンド交通についてはどのように考えているのか。
  - ・改善プラン（案）について、具体的なものが出てきていない。ここに書いてあるのは、意見を出しても出さなくてもいいと捉えることができる。でない議論そのものが成り立たないのでは。
  - ⇒高齢者の割合が高い地域は、しも町が高いと認識はしており、駅への直通乗り入れでは南部からのアクセス向上が必要としている。ただ、現時点はそういう認識だが、今後の状況変化も踏まえてしっかり考えていかなければならない。
  - デマンド交通については、どういう形がその地域に合うことになるかは状況によって変わってくる部分もあると考えており、現時点では選択肢の一つとして考えている。
  - 改善プラン（案）については、今回は5年間の方向性を示すものとして作成させていただいた。各論に入ってくるとそれぞれの地域、実情によって方向感が少し変わってくる場合も出てくるかと思われるので、その際には、十分な議論が必要になってくると思う。
- 【市】

その他意見交換

○中央区自治協議会委員

- ・政令市である新潟市の玄関がすばらしいと言われるような形のまちにしていきたい。BRT導入後は南部も早めできるように進めていただきたい。

○中央区自治協議会委員

- ・新潟駅高架化の際には、直下はバスのみで限定され、タクシーや自家用車が通過できない。上位にあるいがた交通戦略プランの改定を要望する。工夫しながら、BRTも通るがタクシーや自家用車も通過できるような形にお願いしたい。

○中央区自治協議会委員

- ・今のバスをカラーリングすればできることでは。また、住民との対話が十分なされていない。どうやったら生活に根ざした公共交通になるか意見を聞いてもらいたい。マイカー、公共交通の選択というのは市民の協力、コンセンサスを得る必要がある。

○中央区自治協議会委員

- ・新潟駅高架化の際にはせめてタクシーを通すべきでは。
- ・バスのカラーリングはするのか。また、一般バスもあるのか。あれば何台か。
- ⇒BRT路線に変わる一般バスについて、カラーリングは現状では変えない形で考えてい

る。連節バスは4台、一般バスは20台という形になる。【市】

#### ○中央区自治協議会委員

- ・連節バスを通す前に今のバスでシステムのBRTと同じような形でやってからお金をかけることが当然の筋では。
- ・附船線では増便するとあるがなぜ増便するのか。30分に1本、従来どおり附船-新潟駅線を出してもらいたい。

⇒どのぐらいの便数というのを直行という形で残せるかは現在検討中であり、可能性も含めて検討していく。【新潟交通】

#### ○中央区自治協議会委員

- ・自転車について、車道を走ることが本来であるが、連節バスが走った場合、車道はさらに走りにくくなる。自転車のことで車道の使い分けはどのように考えているのか。

⇒自転車は車道通行が原則であるが、自歩道、いわゆる歩行者、自転車専用となっており、そこを通ることで車と自転車の区分がされているというのが現実ではあるが、BRTと歩行者と自転車が本当に区別されているのかどうかを確認したいと考える。また、自転車道を走るには走る自転車が歩行者に注意しなければならないという原則がある。【中央警察署】

#### ○中央区自治協議会委員

- ・BRTを増やす場合、国産化することを考えているのかお聞きしたい。
- ・実施計画については是非とも作成をお願いしたい。

⇒連節バス4台契約時には、国内メーカーがいなかったが、需要が少しずつ出てきそうだという事で国内メーカーの動きも出てきているやに聞いている。ただ、新潟市が購入ということになると、広く入札を行うなかで、その仕様に合い、かつ安いところと契約をさせていただくというのが原則である。【市】

- ・コストだけではなく、地元の産業を育成するという視点も持ってもらいたい。

#### ○中央区自治協議会委員

- ・新潟駅から柂谷小路までの専用線を造ってどういう形で乗降客を整理していくのか、きちんとお示し願いたい。また、白山浦での交通規制などはどのように考えているのか。

⇒専用走行路については、必要と考えているが、まずは今の交通規制の中で開業させていただきながら、交通のトータル変化を見ながら検討させていただきたい。新潟駅から柂谷小路までを考えているが、いきなり全区間での社会実験は難しいので状況を見ながら検討させていただきたい。【市】

#### ○中央区自治協議会委員

- ・新潟市は、警察署の皆さんをはじめとする専門家のいろいろな知見やアイデアなど十分意見交換を密にして施策に生かしていただきたい。
- ・新潟駅高架化での直下をバスだけの通過にすると迂回が生じることになる。そうすると横の道路は渋滞が生じ迷惑する。そういうことを十分に取り入れていってもらいたい。

#### ○新潟島に循環バスを走らせる会

- ・新潟交通さんや都市交通政策課さんから住民バスの共同運行のお話はあったが、打ち切りということをお願いしたい。住民バスにここにこ号として行政としても支援をしていくことを改めて確認をしておきたい。

⇒行政としての支援については、この場ではなく別の場でまた一緒に考えていきたい。【市】

- ・改善プラン(案)の7頁に「住民バス制度の活用」とあるが、しも町以外にそういう地域はあるのかお聞かせ願いたい。

	<p>⇒7 頁の住民バス制度の活用を含めた検討については、現時点で中央区の中では具体的検討は考えておらず、現状ではにこにこ号ということになる。【市】</p> <p>○新潟島に循環バスを走らせる会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入船町線は 37 本から 80 本の 43 本増便，附船町線は 47 本増便の 180 本とあるが，市役所で止まり駅まで行かない。1 時間に 1 本でもとりあえずいいので現行の駅まで行く便をそのまま設けてほしい。</li> <li>・美術館のバスを増やしてくれという要望が出ているかと思うがどうなっているのかご意見を伺いたい。</li> </ul> <p>⇒美術館のバスについては，柳都大橋建設時に地元の方からご来社いただき，お話を伺った記録はあるが，車道幅がかなり狭く駐車車両も多くあることから難しいと回答を差し上げている。【新潟交通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BRT のアンケート調査で 2 回目の状況をお聞かせ願いたい。何部出して何部返送があったのか。連節バス導入に賛成，反対がどのくらいか。</li> </ul> <p>⇒2 回目アンケート結果は，発送数 1,901 回収数 1,043 賛成数は 1 回目 257 に対して 2 回目は 354 である。反対数は 1 回目 1,101 に対して 2 回目 476 である。今回の調査は賛否を問うものではないということは当初より一貫しており，皆さんの懸念など把握することが調査目的である。【市】</p> <p>○新潟東警察署</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しく規制を見直す，あるいは規制をかける，そういったことを道路管理者である中央区並びに市と検討させていただきたい。</li> </ul> <p>○江南警察署</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟駅高架化の際の直下の通行については，もっと議論し改正の余地があるのであればその辺を踏まえてお願いしたい。</li> </ul>
傍聴者	1 名
報道	0 名